

情報連絡員報告・2月分

デフレ、排ガス規制、貸し渋りなど問題山積

～イラク情勢の緊迫化を懸念する石油関連業界～

<東京都中央会>

2月の情報連絡員報告は、デフレ、排ガス規制、貸し渋り、町工場の空洞化など中小企業をめぐる問題の多さを実感する内容となった。さらに、石油関連業界であるゴム製品の製造業ではイラク情勢の緊迫化により、石油価格が上昇することを懸念する報告も寄せられている。金属熱処理業、塗料製造業からは自動車関連業が良いとの報告が、帽子製造業からは次々に帽子的の流行が生まれて好況との報告が寄せられている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

<特記事項欄より>

菓子製造＝商談価格帯が昨年よりさらに低下、企業向け取引も縮小傾向。

漬物水産物加工＝産地表示、添加物、賞味期限等消費者に信用される販売方法が強く求められている。

テント・シート製造＝防災・災害用品の改良改善を目的とした新製品展示会を開催し好評でした。

帽子製造＝昨年末にはニット帽子が、現在はハンチング等が流行して、そこそこの受注を抱えて忙しい日が続いている。

塗料製造＝自動車、船舶、電機機械、金属製品等の景況が好転しつつあるため

関連塗料も伸びてきている。

金庫製造＝金庫に関連した事件が多発しているのに、金庫の売上が低迷しているのは、投資意欲の減退を示すものでは。

金属熱処理＝需要の対前年レベルは、プラス10%位。乗用車、トラック、建材のほか弱電関係も回復してきている。

ダイカスト工業＝中国へ出て行った製品の一部分が、国内に戻ってきているが、価格は中国価格のままで収益上がらず。

スポーツ用品製造＝スキーシーズンも終盤となり、前シーズンが底と思ったが、結局更なるマイナスに終わりそう。

ゴム製品卸＝工業用ゴム・樹脂製品の主

要原料である石油価格が、イラク情勢で上昇することを懸念している。

時計宝石眼鏡小売＝時計は高級化で現状維持。眼鏡・宝飾はデフレで大苦戦。

豆腐製造小売＝全国平均では、前年比5.6%の売上減少と報告されたが、中でも町の豆腐店の打撃が一番大きい。

家具小売＝最盛時360社の組合員がいたが、100社を切るのに数年を要しない趨勢となっている。

< 要望事項欄より >

* 景気回復策を望む。

[家具製造、建築金物製造]

* 景気回復がダメなら、せめてデフレ対策をお願いします。待っていれば価格が下がると思えば誰も買う人はいませんから。

[貴金属製品製造]

* 新規免許の酒販店の増加で、日本国民の飲酒環境（誰でも、たやすく、どこでも、すぐに酒類が手に入る）をこれ以上悪化させないよう願いたい。

[酒類小売]

* 中小町工場の景気対策を積極的にしてもらいたい。街に活気がなければ回復に結びつかない。

[蒲田飲食業]

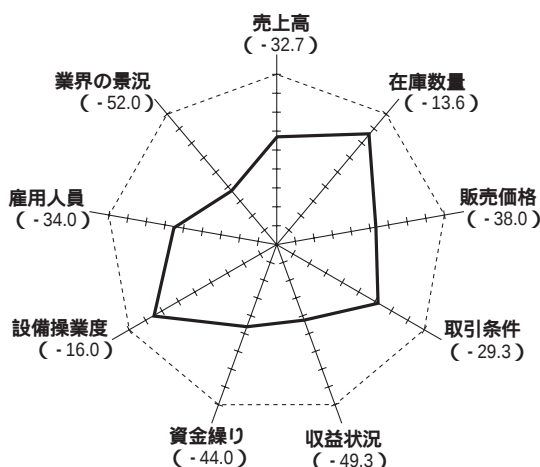
* 東京都へ「排ガス規制」について一部延期、低公害車の供給体制・融資制度等を要望し活動を展開中。

[廃棄物処理業]

* 金融対策は利子補給等では意味がない。そもそも金融機関には資金を貸出す姿勢がないのだから、国や都の行政機関が直接窓口になるしかない。

[運送業]

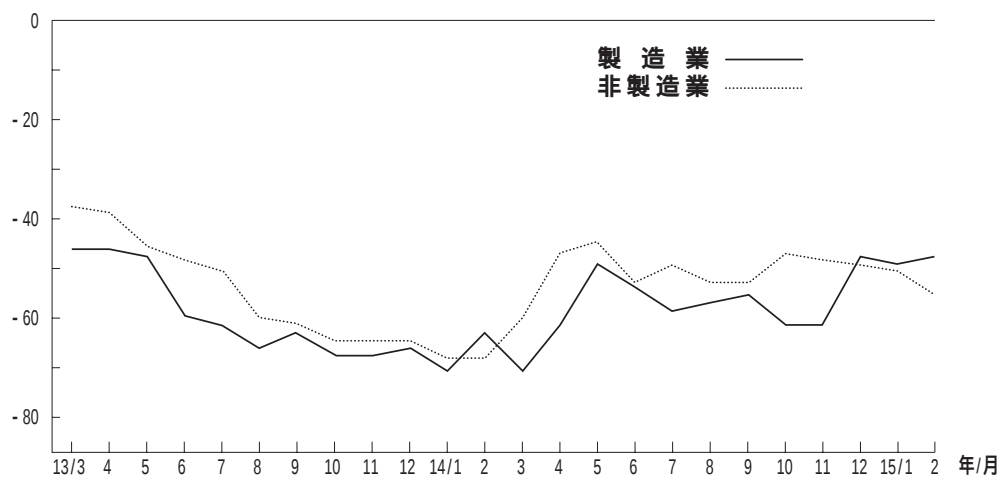
2月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）



(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

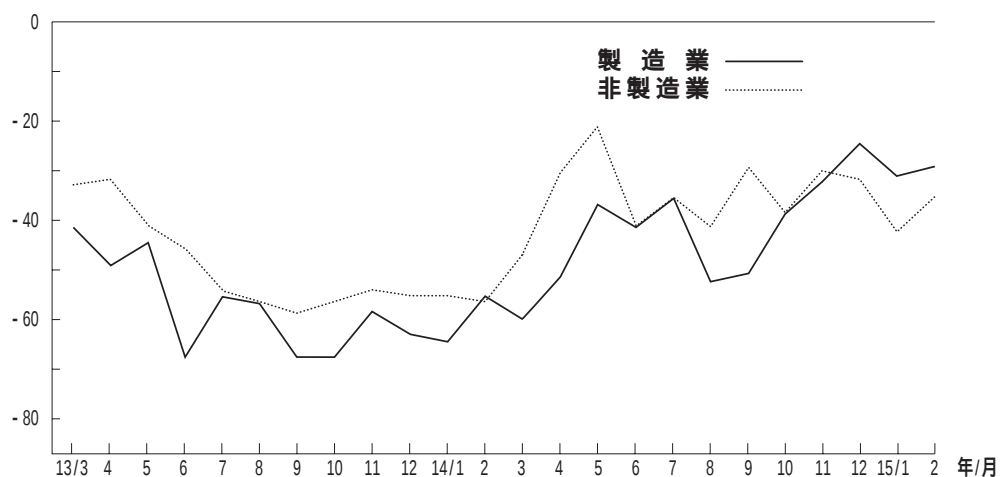
業界の景況DIの変化

(前年同月比)



売上高DIの変化

(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。